

第2回桑名市総合計画審議会 会議概要

日時・場所	平成25年10月22日(火) 18:00~20:00 桑名市役所本庁舎 5階中会議室
出席者	委員：18名 市：2名 事務局：5名
会議次第	1 副市長あいさつ 2 議題 (1) 地域会議の開催について (2) 総合計画の構成について (3) 意見交換
概要 (主な意見)	<p>2 議題</p> <p>(1) 地域会議の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域会議の参加にあたって、総合計画審議会委員はどのような立場で発言すれば良いか。 ・このような行政が住民の意見を聞く会議はこれまでもあったのか。 <p>(2) 総合計画の構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会委員は、自分の経験談や市へのおもいをこれからも積極的に発言していただきたい。 <p>(3) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで市民は、行政にまかせきりだった。これからは市民も積極的に行政に参画するべきであるとする。 ・現在、大学生の立場で市民活動へも積極的に参加している。 市民活動の現場に参加して思うことは、中学生・高校生が議論する場にファシリテーターとして参加すると、中学生・高校生もしっかりと自分の意見を持っており、発表する機会を望んでいると感じる。 大学生の自分は、若い世代の代表として中高生と大人の壁を壊す役割を果たしたい。 中学生・高校生において見える世界は狭いため、学生たちに多くの世界に触れる場を用意し、多くの選択肢を持ったうえで、より良い桑名について考えていければと思う。 自分としては、これからの時代は自立がキーワードとなると考える。中学生・高校生をはじめ、若い世代が自立した考えを持てるようになれば、上の世代ともうまくやっていけるのではないかと考えている。 ・長島町でずっと農業をしてきた。また、介護保険制度を利用して7年以上、両親を世話してきた。その立場で意見を述べられればと思っている。 伊曾島の友人の話引用すれば、長島町内には高い建物もなく、災害時にはどこへ避難すればよいのかと悩んでしまうし、半分はあきらめているなどの意見を聞く。これは長島町での問題であるが、多度町の山間部や住宅密集地などの問題点は違うため、それぞれの地域の人が抱えている不安をくみ上げていただければよいような防災対策を進めていただきたい。 また、旧長島町においては、ごみの日や行政のイベントなどがすべてまとまった福祉カレンダーというのがあった。行政としてサービスの充実のひとつとして考えてほしい。 ・介護の仕事をしている。また、PTA会長もつとめているが、少子高齢化は福祉の分野でも高齢者の分野でも大きな問題。経験を交えて発言していきたい

い。

子ども達が魅力ある桑名で育っていき、将来的には全員参加型市政に参加し、世界に向けて活躍できる桑名にしていけば高齢化していく社会を支えていけるのではないかと思う。

- ・桑名は、住みやすい街ではあるが、税収の上がる街という計画を忘れてきたのではないかと思う。

3つの市町が一緒になったのだから、それぞれの街の特性をいかした土地利用を考えた総合計画策定をしていきたい。

- ・女性消防団の立場で、防災について発言していきたい。現在、市内のあちらこちらに海拔〇〇mを示すシールが貼ってあるが、避難場所の方が自分の住む地域より低くなってしまっているケースも見られる。避難場所として適しているのか検討していただきたい。

- ・子育てに関して、子どもを単に3人育てられるまちではなく健康ですこやかに育てられるまちにしていきたい。桑名市は『きらきら』や『ぽかぽか』が相次いでオープンし、ハード面での充実が図られていることは評価できる。

しかし、利用者が決まってしまっており、本当に利用したい母親が参加できるソフト面での充実が求められる。

また、子育ての他にも子どもの在宅医療についても病院との連携が必要と考えている。

- ・市外から2年程前に引っ越してきて、桑名市が3人目の保育料が有料であることにとても驚いた。『子どもを3人育てられるまち』をかかげるにあたり、桑名市はまだまだと感じているため審議会委員にも応募した。

人口がどんどん増えていけば良いとは考えていないが、子どもが減少していくと地域として成り立っていかなくなると考える。

自分としては、子どもというキーワードは市長の掲げる『7つのビジョン』のすべてに関連するものと考えている。子どもは桑名市民として育っていく。母親として金銭的にも安心して暮らせるまちにするために提案していきたい。

- ・まずは、桑名市が将来像を明確にしなければさまざまな施策を実行できないと思う。優先順位をつけ、将来像を検討すべきであると感じた。

商工会議所に勤めていても、他の地域の人に桑名を紹介する場合に、はまぐりしか思い浮かばないのが現状。桑名には豊かな観光資源があるのに認知度は低いと考える。PRが下手なのかなと感じる。六華苑のような既存の施設をもっとPRできるような戦略を考えていきたい。

- ・桑名市は人口が増加しているものの、これは、桑名市の持つ魅力というよりも、名古屋のベッドタウンとして捉えられていると感じている。歴史や文化など桑名の持つ魅力がまだまだ知ってもらえておらず、もどかしい想いをしている。

地域の宝を見つけ発信していけば、人の集まる桑名になると考える。

青年会議所の一員として普段から桑名の魅力を高めるために活動しているが、この会議でも皆さんとともに魅力ある桑名市を作るために提案していきたい。

- ・自分は桑名市がとても好きである。この素敵な桑名市をもっともっと知ってもらいたいと思っている。行政に頼らず、アクティブシズンとして活動をしながら、審議会の場でも桑名の魅力発信について提案していきたい。

自分達一人一人が桑名の良さを発掘し、子ども達へ伝承することはとても大切であると思っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・はまぐりの復活のために漁協が団結して努力してきた。そのような中、最も良かったことは、後継者が増えたことである。最近では20代・30代・40代の若手の漁師も加わり、非常に良い状況になっている。これからも桑名のはまぐり漁発展のために努力していきたい。 ・国際交流教室を開いているが、大人の外国人だけでなく、子ども達の未来も気にかかっている。日本語が上手にならずに孤立していたり、家庭では家事をしなければならなくて宿題や勉強のできない子が多い。学ぶ機会を与えれば子ども達も伸びていく。外国人が国内で地位を得るにはある程度の学歴等の評価が必要と考えている。 このような取組を進めていけば、子ども達が桑名を好きになってくれると思う。そして将来、国際的にも活躍し、桑名のためになってくれると信じている。子どもたちを通じて、国際化に貢献できればと考えている。 また、民生委員やPTA役員などを経験して感じるのだが、行政には委員会や会議などの組織が多すぎると思う。似たような計画や施策を考える組織はもう少しまとめてほしい。 ・各市町によって行政サービスが異なることに疑問を感じることから、住んでいる人が地域間を越えてサービスを同等に受けられるような広域行政を考えていきたい。 ・桑名には、地理的優位性だけでなく他にもさまざまな優位性があると思う。 魅力あるまちとしてリードして行っていただきたい。 長島地区の集客数は非常に多い。そのような人を他の桑名の資源に繋げることで誇りが持てるまちづくりができれば良いと思う。 ・桑名は、線路を挟んで東西でコミュニティが分かれてしまっている感じを受けるので、それを壊して桑名を1つにできる仕組みを考えていきたい。 具体的で市民が夢の持てる将来像を掲げていきたい。
<p style="text-align: center;">担 当 課</p>	<p>市長公室 政策経営課</p>